

第6学年図画工作科学学習指導案

1、単元名

アルチンボルドの絵の世界

2、単元の目標

(1) 図画工作科としての目標

- 絵に描かれたものの特徴をとらえ、想像を広げながら絵を見ることを楽しむことができる。
- 絵から想像したことや友達との感じ方の違いについて、友達と交流することができる。

(2) 汎用的スキル

- アルチンボルドの絵に描かれた対象の形や色から、その雰囲気を感じ取ったり、意味を考えたりすることができる。(感性・表現・創造の力)

(3) 態度・価値

- グループでアルチンボルドの絵の鑑賞を進め、友達と話を聞き合う中で、班で一つの見解を見出すことができる。(協力しあう心)

3、児童の実態

6年1組では、日ごろからつくり出すことを楽しむ様子が見られる。友達のつくったものにも関心を持ち、仲の良い友達同士でどのような工夫が込められているのか、また、どのような思いが込められているのかを聞き合っている様子も見受けられる。本題材でも、友達の意見に耳を傾け、自分の感じ方や友達の感じ方の違いを楽しみながら、絵の鑑賞を進める姿が期待できる。

児童からは、長期休暇を利用して美術館に行ったという話も聞こえてくる。また、学校外で絵を習っている児童もいる。中には低学年期と違って絵を描くことに苦手意識をもっていたり、描くことは好きだが絵を見ることは退屈に思っていたりする児童もいて、描画や鑑賞への関心は子どもによって様々である。

4、単元について

①教科から見た特性

アルチンボルドの絵「大地」は様々な種類の動物が集まって、ある皇帝の横顔を表している絵画である。自由に想像を広げられるようなおもしろい描かれ方をしているので、小学生も十分に楽しむことができる。また、描かれたものは、作者の表現の意図を考える手がかりにやすく、小学生の鑑賞に適した作品であると言える。描かれた動物の絵を切り離す活動は、絵の細部に目を向けるための活動であるが、そのような活動を通して児童同士が想像したことを聞き合い、その活動（鑑賞）自体を楽しむ姿につなげることができる。

②汎用的スキルや態度・価値育成の観点から見た特性

児童は、絵から感じたことを言葉にして、模造紙にまとめていく活動を通して、友達との共通点や差異に気付き、感性を豊かに育んでいくことができるだろう。友達の意見全てに共感する必要はないが、友達と様々に意見しながら一つの見解に辿り着くまでの過程で、協力しあう心が育まれると考えている。

5、単元計画と資質・能力を育成する主な手立て（全2時間 本時2/2時間）

	学習活動	関連する主な資質・能力	資質・能力を育成する主な手立て
第1次 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・アルチンボルドの上下絵を見ることで、絵を見ることや作者への関心を高める。 ・絵画「春」を見て、感じたことを聞き合う。 ・題名を考える活動の中で、作者の表現の意図にせまる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○感性・表現・創造の力 ・他者に対する受容・共感・敬意 	<ul style="list-style-type: none"> ○絵の細部まで見えるような大きなスクリーンの準備 ○感じたままに話す姿を承認する声がけ ○友達の話を聞き合える雰囲気づくり
第2次 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・絵画「大地」を見て、描かれた動物から好きな動物を選ぶ。 ・描かれた皇帝がどんな皇帝だったのかを想像して、動物に語らせる。 ・グループで模造紙にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○感性・表現・創造の力 ○協力しあう心 	<ul style="list-style-type: none"> ○絵の細部まで見えるような大きなスクリーンの準備 ○意見を自由に書き足せる教具の用意 ○十分なグループ活動時間の保障

6、本時の学習指導

(1) 本時のねらい

- ・絵に描かれたものの特徴をとらえ、想像を広げながら絵を見ることを楽しむことができる。
- ・絵から想像したことや友達との感じ方の違いについて、友達と交流することができる。

(2) 本時の展開

時間	○学習活動 ・予想される児童の反応	◇資質・能力を育成する主な手立て ◆評価
導入 10分	<p>○鑑賞する絵（アルチンボルド「大地」）を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの動物が集まって顔になっているよ。 ・吠えているライオンが気になるな。 <p>○気が付いたことを、できるだけたくさん紙に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウサギのお尻が、鼻になっている。 ・動物の角が髪の毛みたいに見える。 ・寒い場所に住んでいる動物が多いか、いや、暑いところに住んでいる動物もいる。 ・動物たちの目が何かを語っているようだ。 	<p>◇絵画作品の細かいところにまで注意を向けさせ、感じとらせる。（絵の細部まで見えるような大きなスクリーンの準備：感性・表現・創造の力）</p>
展開 25分	<p>○自分の思いを語らせる動物を決め、切り取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんか、俺サルと目が合った。 ・シカがかわいいから、シカにしよう。 ・ライオンになって、叫びたい。 <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>描かれた人物がどんな人物なのかを想像しよう</p> </div> <p>○描かれた人物の名前を知り、どんな皇帝だったか、絵から想像を広げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悲しい目をしている。心の中に寂しさを隠し持っている。 ・いつも独りで悲しい気持ちがあったから、動物たちに囲まれているのかもしれない。 ・ユーモアがあり、アイデアがたくさんわく皇帝だったのではないか。 ・草食動物と肉食動物が混ざっているから、弱い人と強い人を差別しない皇帝のように思う。 <p>○グループで模造紙に付箋を貼り、「動物が語る」かたちでまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高価な動物が描かれているだろ、これは皇帝の権力を表現しているのだ。ライオンが吠えているのは、強さの表れだ。 ・様々な種類の動物を集めて顔にしている。新しいことをどんどん取り入れ、楽しいことを生み出している皇帝だ。 ・心の中の悲しみをプライドで隠しているのでは？もしかしたら、大切な人を亡くしたのかもしれない。 ・自分の顔を動物を集めて描かせたように、みんなで協力して国を作ることが大切だと考えている皇帝だ。 	<p>◇付箋を十分に用意し、思ったことを自由に書かせることで、想像を広げさせる。（意見を自由に書き足せる教具の用意：感性・表現・創造の力）</p> <p>◆絵に描かれたものの特徴をとらえ、想像を広げながら、絵を見ることを楽しんでいる。（活動の様子、付箋への記述）</p> <p>◇一人一人感じたことを児童同士で聞き合えるように、かかわりを大切に活動を支える。（十分なグループ活動時間の保障：協力しあう心）</p>
結末 10分	<p>○隣のグループの活動を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣のグループは強そうな肉食動物に注目しているよ。 ・皇帝の表情から受ける印象が、人によって違うね。 ・ストーリーが広がっていく感じが楽しいな。 <p>○活動の中で分かったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・描かれた皇帝は、見たことのないものを好んだり、未来のことをよく考えていたりしたのだと感じた。 ・絵を細かいところまでよく見ていくと、想像が膨んだり、そこからストーリーが広がっていったりして、楽しい。 	<p>◆絵から想像したことや友達との感じ方の違いについて、積極的に友達と交流している。（活動の様子、発言）</p>